

茨城大学教育学部附属中学校



校長 榊 守
副校長 藤田 絹子

めざす生徒像
より高い価値をめざし
たくましく実践し
ともに向上する生徒

統合60周年記念



茨大附属中 2017.6月2日



平成29年度 研究主題
21世紀を生きるための「教養」を高める学びの創造

写真提供(株)スカイワールド

グローバル市民科

(総合的な学習の時間)

今後のグローバル社会を生き抜く上で必要となる「自己の生き方の基軸となるもの」を確立するためには、獲得した知識を総動員して物事を多面的・多角的にとらえ、自分の信念に基づいて判断し行動に移す経験を積むことが大切である。本校では、総合的な学習の時間を「グローバル市民科」と称し、各学年毎に講座制学習を進めている。学びの質の高まりを求めて、本年度より、縦割り小集団による全校講座を開設することとした。全校講座では「しあわせ社会の実現」に向けた、異年齢集団による協同的な学びを、



全教職員が支えている。また「附中スクールボランティア制度」を活用し、様々な方に活動を支えていただいている。

附中スポーツフェスティバル

(生徒の主体的な取組による体育的行事)

運動やスポーツには「行うこと」「見ること」「支えること」及び「知ること」などの多様な関わり方がある。本校では、附中スポーツフェスティバルを、年に4回開催している。生徒が自ら創りあげる体育的行事を「陸上」「球技」「駅伝」「大縄跳び」と、ロングランで実施することにより、スポーツに触れる機会の充実を図るとともに、将来的には「豊かなスポーツライフ」の実現につながるよう、「勝ち負け」よりも「関わり方」を大切にしていく。平成31年の茨城国体、平成32年の東京オリンピック、パラリンピックなどのスポーツの祭典により関わり方ができる生徒を育成したい。

